

豊田公立小中学校事務職員研究会は、豊田市・みよし市の公立小中特別支援学校116校に勤務する学校事務職員135名で組織する研究団体です。

本会は学校事務の研究及び会員の資質向上に努め、学校教育の発展に寄与することを目的に研究活動をしています。

この一年、新型コロナウイルスの影響で社会が大きく変化しました。コロナ禍でどのように研究会活動を進めていくのか、今年度も引き続き研究会活動の新たな可能性を模索し、事業が停滞しないよう様々な工夫をしながらの事業を進めていきます。

さて、昨年度は小学校、今年度は中学校で新学習指導要領が全面実施となりました。持続可能な社会の創り手を育てる学校の中で、事務職員の役割を考えていくことが求められています。令和3年1月の中教審答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』の中でも、事務職員の総務・財務等に通じる専門職としての役割、そして主体性や積極性も期待されているところですが、その中で事務職員は何をしていくのでしょうか。子どもたちの学びの保障や成長を支える環境づくりなど、考えること、できることはたくさんあります。それらを主体的に考え、積極的に提案していくことが必要です。

新たな指針づくり、人財育成に取り組みながら、子どもたちの学びにつながる実務研究や、コロナ禍においても実践可能な研修等を通じて、会員の資質向上につながる活動を行っていきます。

令和3年6月

豊田公立小中学校事務職員研究会会長

森山 智香子